



**山形県木材産業協同組合**

〒990-2473 山形市松栄 1-5-41  
 TEL.023-666-4800 FAX.023-646-8699  
 URL:http://www.mokusankyo.jp  
 E-mail:yamawood@mokusankyo.com

目次

- 1. 第29回山形県林業まつり開催!!
- 2. 県庁ロビー内装木質化事業完成!!
- 3. 西山杉コンソーシアム開催!!
- 4. 森林都市木造化推進合同研修会!!
- 5. 県林工連携コンソーシアム研修会!!
- 6. 11月以降の行事予定



**1 第29回山形県林業まつり開催!!**



10月19～20日山形県総合運動公園第二南駐車場内特設会場(天童市山王1-1)にて、令和の時代を迎え、森林や林業さらには環境に対する県民の理解を深め、木材や林産物等の利用を推進するため、第29回山形県林業まつり(実行委員長:細野武司)を開催した。主催は山形県林業まつり実行委員会、山形県、天童市、県森林協会、県森林組合連合会、県木産協、(公財)県みどり推進機構、やまがた県産木材利用センターの8団体で、他に業界団体や企業等29団体が協賛している。70張を超えるテントブースと躯体展示が3件、高性能林業機械が3台と例年通りのにぎわいをみせた。初日はあいにくの雨模様であったが、翌日の暖かな秋晴れにより2万9千人の来場者を数えた。初めに併催行事の林材業年次大会において、大会実行委員長の細野武司が行政と業界が連携し山形県森林・林業・木材産業の推進を図っていくと挨拶した。続いて木産協松田賢理事長が林野庁など中央官庁や上部団体に対して「やまがた森林ノミクス」の推進と「災害に強い多様で健全な森林づくりの推進」を提案した。その後、若松正俊副知事、舟山やすえ参議院議員など加わり、恒例の丸太カットで開会した。今年も県農林水産祭の一環として、食彩まつり(約50ブース)と併催で開催している。



木産協関連ブースを中心に簡単に紹介します。まずは、山形木材業組合支部(代表:鍋倉利樹氏)による恒例青空親子木工教室で、初日はテレビ中継も入るなど例年通りのにぎわい



を見せ林業まつりの看板ブースとなった。JAS事業関連では、JAS材展示コーナーや合法木材普及コーナー、JAS材躯体展示、子ども上棟式(JAS材利用)を開催し、パネル展示や手触り感など、県民にJAS材とりわけ機械等級区分構造材をPRした。その他、県産スギ合板・県産スギ集成材コーナーや県産広葉樹材を紹介するコーナーを設け、木製ネームプレート作成やかんな掛けなど体験していただいた。





子ども上棟式は、土台から子ども達が組み上げて、最後餅撒きまで体験する方式とした。材は(株)山形城南木材市場上山加工工場のJAS機械等級区分構造材を(協)山形木造住宅プレカットシステムで加工し納めたもの。6人の子供と3人のプレカット協会の担当者らが30分程で組み上げた。その後の餅撒きは小学校までの子ども限定参加ですが、用意した600個の餅やお菓子は瞬く間に無くなった。



木結の家主催のJAS材モニュメントは斜め加工も可能な金具工法プレカット加工で同グループの技術力をPRしていた。

カンナふわふわテントコーナーは新規の企画で(株)アイタ工業の協力により、トンパック3個分のカンナ屑を集めていただいた。様々な樹種が混在し、子ども達は大喜びでダイブし、飛び回っていた。見ていた保護者からも、「木の香りが素晴らしい遊具ですね。」と好評であった。今回は風が強く、事務局の屑の掃除が大変であることを実感した。



高性能林業機械展示コーナーでは、今年も県立農林大学校林業経営学科学生がオペレーターとなり、ハーベスタの操作等を担当した。吉崎教授によれば、今回の参加した学生は県内の森林組合に内定をいただいているとのこと





## 2 県庁ロビー内装木質化工事完了!!

夏ごろから少しずつ見られるようになった県庁ロビーの内装木質化工事が9月末で完了し、10月3日（木）吉村知事も参加し、除幕式が行われた。これは、県内市町村の公共施設・民間施設の木質化のモデルケースとして設置したもので、知事の進めている「やまがた森林ノミクス」の推進を図るもの。工事の概要として、設計が(株)平吹設計事務所、製材加工が(株)庄司製材所、工事施工が(株)渋谷組。木材使用料益17㎡、総事業費42,000千円。特徴として県産スギの縦格子を基調に配置し、中心部に山形県を模ったスギ板プレートで装飾し、その上に35市町村の木を配置している。吹き抜けの木製パネルには、県の花（ベニバナ）、魚（サクラマス）、木（サクランボ）、獣（カモシカ）、鳥（オシドリ）をモチーフにしたマークを取り付け、県のシンボルをPRしている。除幕式で知事は「山形の木質化のモデルとして発信したい。」と挨拶し、庄司製材所社長さんら工事関係者と共にプレートを除幕した。



## 3 西山杉利活用推進コンソーシアム開催!!



10月17日（木）寒河江市の村山総合支庁西村山地域振興局で西山杉利活用推進コンソーシアム（会長：佐藤浩之産業経済部長）が開催された。本コンソーシアムは西川・大江・朝日の3町で生産されているブランド材「西山杉」の利用拡大などを旨として設立した産学官の協議会です。会議では本年度事業を確認し、その後さらなる販路拡大のため、木産協理事長松田賢氏から「地域材に求められるもの」と題して提言し意見交換を実施した。提言の中で地域材の需要拡大のためには、県内の新設住宅着工数等から県内PRだけでは厳しい状況であり仙台圏や首都圏への県外出荷が望ましいが、全国的に戦後植栽し伐期齢を迎えた林分が増えたことから差別化が必要であり、良質な西山スギ製材品だけを出荷するなどして、信頼を高めブランド力を上げていく必要があると話した。

## 4 森林都市木造化推進議連・協議会合同研修会開催!!

10月23日（水）東京自民党本部7階会議室において、「森林を活かす都市の木造化推進議員連盟総会・協議会合同研修会」（会長：吉野正芳衆議院議員）が開催され、林野庁長官や国交省・環境省幹部も参加し、議連が中央業界と連携し都市の木造化を進めていくことを確認した。本県からは、遠藤利明氏が理事に、鈴木憲和氏が事務局次長に就任している。来賓挨拶では、岸田政調会長が応援演説を行った。先進地視察事例として山形県が紹介された。木産協からは、理事長代理で専務が出席した。協賛者席ではあるが最前列のテーブル席指定の待遇だった。研修会終了後、同本部9階にて合同パーティーが開催された。



## 5 県林工連携コンソ森総研(つくば市)視察!!



10月31日(木)～11月1日(金)山形県林工連携コンソーシアム研究会(会長:柴田洋雄山形大学名誉教授)が会員11名参加による国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所(茨城県つくば市)視察会を実施した。木産協からは、安部副理事長、鍋倉山形木材業支部長、寺崎相原木材専務、鈴木木産協専務が参加した。在来軸組工法に耐力壁(ネダノン)を併用し、太陽光を取り入れた環境に配慮した最新鋭の健康住宅やCLT関連試験室、強度関連試験室、フィンガージョイント試験室、スマート林業最新機械、セルローズナノファイバー試験施設等の各施設視察、木のお酒の香りを体験した。夜は、森総研の宮沢企画部研究管理科長も加わり、最新木材加工状況等について意見交換を実施した。

た最新鋭の健康住宅やCLT関連試験室、強度関連試験室、フィンガージョイント試験室、スマート林業最新機械、セルローズナノファイバー試験施設等の各施設視察、木のお酒の香りを体験した。夜は、森総研の宮沢企画部研究管理科長も加わり、最新木材加工状況等について意見交換を実施した。

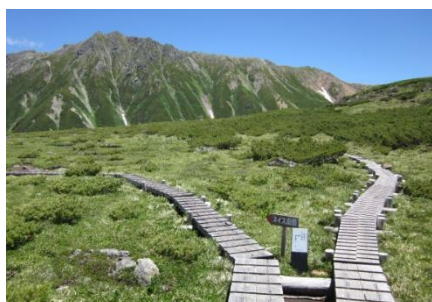


## 6 11月以降の行事予定

日程	行事名	予定出席者
11. 1	木材利用推進「全国会議」(東京:木材会館)	専務
11. 3	山形県木造住宅フェア2019(山形ビッグウイング)	専務他
11. 5-6	森林・林業技術研修会(最上管内)	専務
11. 6	全国木材産業振興大会(高知市)	理事長他
11. 11	遠藤利明政経セミナー(山形市)	安部副理事長
11. 13	合法木材実務研修会(山形市パレス)	理事長・専務
11. 15	オリ・パラ木材供給事業報告会・JAS説明会 メトロ	理事長・専務
11. 25	舟山やすえ政経セミナー(山形市パレス)	理事長
12. 2	林業まつり実績報告会(山形市国際H)	理事長他
12. 8	吉村美栄子と語る会(山形市パレス)	理事長

## 7 日本百名山シリーズ紹介(水晶岳)

北アルプスの奥地、黒部川の源流域に位置する水晶岳(黒岳)2,986mは、山頂部に水晶が転がっていたという話もあり、登山道が乱れ、つつい足元を見てしまうが今は無いので登山道からはみ出さないでいただきたい。周囲の山は赤茶けた山や緑の山が多い中で、山頂部だけが黒い岩盤で通称黒岳の異名に領ける山塊だ。この山は麓



からの日帰りが不可能な山の一つで基本は2泊3日程度の縦走登山となる。見どころも多く、登山口により他の百名山も複数踏破が可能になる。今回は登山者のあこがれで日本最後の秘境と言われる「雲の平」のお花畑と水晶岳、日本一遠い温泉「高天原温泉」の露天風呂を快晴と満天の星空の下で味わうことができました。ここはお薦めの山旅です。





## 8 厚生労働省(林野庁・全木連)からのお知らせ

# 11月は「しわ寄せ防止 キャンペーン月間」です。

大企業・親事業者による長時間労働の削減等の取組が、  
下請等中小事業者に対する適正なコスト負担を伴わない短納期発注、  
急な仕様変更などの「しわ寄せ」を生じさせている場合があります。

A graphic with the word "STOP!" in large yellow letters inside a yellow square, with the Japanese characters "しわ寄せ" (Shiwayose) written below it in a stylized yellow font.

**大企業等と下請等中小事業者は共存共栄！  
適正なコスト負担を伴わない短納期発注や急な仕様変更などはやめましょう！**

厚生労働省が所管する「労働時間等設定改善法（平成4年法律第90号）」が改正され（平成31年4月1日施行）、事業主の皆様は、他の事業主との取引において、長時間労働につながる短納期発注や発注内容の頻繁な変更を行わないよう配慮する必要があります。

他の事業主との取引を行うに当たって、次のような取組が行われるよう、社内に周知・徹底を図りましょう。経済産業省・中小企業庁が所管する「下請中小企業振興法（昭和45年法律第145号）」に基づく「振興基準」には、親事業者と下請事業者の望ましい取引関係が定められています。

●やむを得ず短納期発注や急な仕様変更などを行う場合には、残業代等の**適正なコストは親事業者が負担すること。**

●親事業者は、下請事業者の**「働き方改革」を阻害する不利益**となるような取引や要請は行わないこと。

親事業者は、取引対価の見直し要請があった場合には、**人手不足や最低賃金の引き上げなどによる労務費の上昇**について、**その影響を反映するよう協議**すること。

●親事業者は、継続的な取引を行う下請事業者に対して、安定的な生産が行えるよう**長期発注計画を提示し、発注の安定化に努めること。**

●発注内容を変更するときは、**不当なやり直しが生じないよう十分に配慮すること。**

## 9 住宅着工状況

令和元年9月期の県内新設住宅着工戸数は533戸となり、対前月比106.0%、対前年同月比95.9%、前年累計比は96.2%となった。地域別では山形市・東根市・米沢市・南陽市が伸びている。米沢市はRC造が60戸分含まれる。南陽市は純増。県木造率は85.0%。

### 1 県内新設住宅着工戸数(令和1年9月)

(単位:戸)

年月	総数	利用関係別				資金別		木造住宅		木造内訳		
		持家	貸家	給与住宅	分譲住宅	民間	その他	戸数	木造率	在来軸組	プレハブ	2×4
22年	4,125	2,533	1,140	40	412	3,777	348	3,319	80.5%	2,479	112	728
23年	4,336	3,001	1,100	8	227	3,903	333	3,615	83.4%	2,778	121	716
24年	4,716	3,086	1,273	61	296	4,468	248	3,917	83.1%	2,940	156	821
25年	5,323	3,543	1,372	21	387	5,136	187	4,515	84.8%	3,453	152	910
26年	4,550	2,529	1,505	83	437	4,335	215	3,797	83.4%	2,752	106	939
27年	5,403	3,076	1,721	15	591	5,338	65	4,575	84.7%	3,138	130	1,307
28年	5,675	3,046	1,930	16	683	5,592	83	4,875	85.9%	3,370	109	1,396
29年	5,516	2,976	1,837	50	653	5,473	43	4,661	84.5%	3,366	98	1,197
30年	6,362	3,160	2,322	25	855	6,039	323	5,015	78.8%	3,367	128	1,520
9月	556	315	190	0	51	546	10	476	85.6%	336	24	116
30.1~9月	4,640	2,324	1,780	22	514	4,329	311	3,660	78.9%	2,475	98	1,087
10月	541	298	173	3	67	537	4	495	91.5%	341	12	142
11月	493	275	165	0	53	489	4	438	88.8%	297	12	129
12月	688	263	204	0	221	684	4	422	61.3%	254	6	162
31.1月	223	128	37	1	57	220	3	199	89.2%	163	7	29
2月	380	176	132	0	72	379	1	352	92.6%	208	10	134
3月	514	263	142	2	107	513	1	442	86.0%	315	6	121
4月	505	324	133	1	47	502	3	421	83.4%	321	8	92
5月	555	254	246	3	52	551	4	410	73.9%	282	6	122
6月	794	353	187	2	252	785	9	505	63.6%	367	23	115
7月	457	227	167	13	50	454	3	377	82.5%	289	3	85
8月	503	210	220	2	71	484	19	401	79.7%	276	9	116
9月	533	235	187	1	110	523	10	453	85.0%	273	11	169
対前月比	106.0%	111.9%	85.0%	50.0%	154.9%	108.1%	52.6%	113.0%	-	98.9%	122.2%	145.7%
対前年同月比	95.9%	74.6%	98.4%	-	215.7%	95.8%	100.0%	95.2%	-	81.3%	45.8%	145.7%
30.1~当月計	4,640	2,324	1,780	22	514	4,329	311	3,660	78.9%	2,475	98	1,087
31.1~当月計	4,464	2,170	1,451	25	818	4,411	53	3,560	79.7%	2,494	83	983
対累計前年比	96.2%	93.4%	81.5%	113.6%	159.1%	101.9%	17.0%	97.3%	-	100.8%	84.7%	90.4%

### 2 地域別新設住宅着工戸数(令和1年9月)

(単位:戸)

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
県計	533	4,464	95.9%	96.2%	3,560
山形市	114	1,489	90.5%	104.0%	1,038
上山市	13	90	260.0%	95.7%	86
天童市	23	361	57.5%	148.6%	337
山辺町	3	47	42.9%	77.0%	45
中山町	0	34	0.0%	130.8%	22
東南村山	153	2,021	83.2%	108.9%	1,528
寒河江市	23	182	39.0%	75.2%	150
河北町	4	37	80.0%	69.8%	36
西川町	0	4	-	66.7%	4
朝日町	1	4	-	100.0%	3
大江町	0	19	0.0%	86.4%	18
西村山	28	246	39.4%	75.2%	211
村山市	11	61	183.3%	113.0%	61
東根市	44	286	163.0%	107.5%	267
尾花沢市	2	36	66.7%	128.6%	35
大石田町	0	2	0.0%	50.0%	2
北村山	57	385	154.1%	109.4%	365
村山地域	238	2,652	81.5%	104.6%	2,104
新庄市	8	161	61.5%	140.0%	123
金山町	3	6	-	100.0%	6
最上町	0	4	0.0%	36.4%	4
舟形町	1	2	-	50.0%	2
真室川町	0	4	-	0.0%	4

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
大蔵村	3	6	-	100.0%	6
鮭川村	0	5	-	55.6%	5
戸沢村	3	6	150.0%	75.0%	6
最上地域	18	194	112.5%	122.0%	156
米沢市	111	387	148.0%	55.8%	289
南陽市	50	120	500.0%	173.9%	118
高畠町	12	79	109.1%	119.7%	76
川西町	12	59	150.0%	105.4%	35
東南置賜	185	645	177.9%	72.9%	518
長井市	9	74	300.0%	81.3%	72
小国町	2	10	100.0%	333.3%	14
白鷹町	4	25	22.2%	46.3%	23
飯豊町	1	15	100.0%	150.0%	10
西置賜	16	124	66.7%	78.5%	119
置賜地域	201	769	157.0%	73.7%	637
鶴岡市	37	355	84.1%	95.2%	348
三川町	0	23	0.0%	48.9%	15
庄内町	7	54	100.0%	90.0%	37
田川	44	432	74.6%	90.0%	400
酒田市	32	400	61.5%	104.2%	247
遊佐町	0	17	0.0%	43.6%	16
飽海	32	417	52.5%	98.6%	263
庄内地域	76	849	63.3%	94.0%	663

注:累計は平成31年1月~